広報 かわち

発行所　河内村公民館
発行人編集　篠田彦次
印刷所　龍崎活版所

村政と土地改良

村長　青野隆一郎

村はその村の中にある総ての生産要素を綜合組織して統一的活動をさせ生産を向上させるべく手段方法を講ずるものであります。従って我が河内村では農地の生産性向上が重要な問題となります。それなら如何にして農地の生産性を向上させるかと云ふことでありますが、それは土地改良をするより他に方法はありません。而して土地改良された土地を合理的に活用して生産性を増し農業経営を豊にすることであり自立自営の農家を維持育成するのでなければなりません。言ってしまいばこれ丈けでありますが実行するとなると思はぬ困難も生じてきます。

併し我が河内村の生板、源清田、長竿三地区は豊田堰土地改良区と牛久沼土地改良区と新利根上流土地改良区地域で概ね二重加入のかたちで二重に土地改良区の賦課金を賦課されているのであります。この負担の問題も何とか処置せねばならぬでせう。又金江津地区は新利根川土地改良区単独加入のものと金江津長竿土地改良区の地域とになっています。即ち河内の全地域は土地改良区に加入しているのであります。併し甚だ遺憾ながらその土地改良の事業が客観的条件が整はないので思ふ様に進展しない現状であります。才一県営で施行されている新利根上流の事業も予算が少く困りました。そこで村は改良区に積極的に協力して来年度予算の獲得に努力した結果成果を収めつゝありますのは組合員諸君の協力の賜であり御同慶の至りです。

兎に角近代資本主義の特徴は資本集中速度のスピード化とその集積が想像を超いて大きくなりつゝあることであります。我々は農村の進むべき唯一の途として共同化、科学化、企業化の三つを目指して進みその威力を振いつゝある独占資本に対抗して行かねばならぬと思います。こんなことは誰もやってくれませんから自分達の力でやらねばならぬのであります。只努力あるのみです。それには前述の様に共同の利害に立って団結することです。部落根性と云ふのがよく云はれますが、それでは駄目です。より大きく力を結集することが勝利えの道です。

又造成された土地を合理的に運用することが土地改良を活かすことでありますけれども農業の技術的進歩と品種改良は今迄の考いでやる農法を根底から揺ぶっています。時期でない時に市場に生産品を出荷して莫大な利益をあげた、又農薬の進歩で被害を完全に喰止めたりしています。やがて一地域について品種統制し又作付統制が実行されることゝならねば真の近代農業経営にふみこんだとは云はれないでせう。これもみな土地改良が完成されたと云ふ前提にたってのことであります。村は一日も早く土地改良が完成し土地の多角利用の条件を具いることに全幅の協力をするものであります。土地改良事業の根幹の用排水が出来ても区劃整理が出来上らねば完成とは云はれません。而も思いのまゝに自分の田に用排水をすることが出来るのが絶対条件でありますから自然用水からキカイ用水へと移らねばならぬのであります。河内村は東京から遠い遠い彼方ではありません。魚釣りにくる近郊です、時代が変ってきていることを充分考えて土地改良をやらねばなりません。土地改良は改良区がやりますが、村は積極的に全力をあげて協力しますますそしてその完成し完成されつゝある土地即ち諸生産要素を綜合的に組織の統一経営して村を豊かにする為に個人の生活の向上のために生産をまさしめて自立自営の農業経営を目安として進むのであります。我々の村は土地改良を考えずに村政はありません、云いかえれば村民と共に土地改良の完成を目指して手をたづさえて進みませう。

秋の祭典　『文化祭』行わる

親子競走

前日の雨模様も十一月十四日の朝はからりと晴れ上り絶好の文化祭日和となった。当日は、河内中学校庭に参加者全員集合開会式に初まり、農産物品評会、柔剣道大会、手芸品、生花、写真、作品等の展示会があり尚大会の呼び物である村民運動会、駅伝競争も行われた。運動会は、婦人会其の他各種団体の奇抜な競技により一層の楽しさが加えられ、駅伝においては、総走行距離三十七粁余（河内村一周）を十人の選手六チームによって沿道の熱烈な声援に送られ、結局金江津中チームが才一着のテープを切られて一日の行事が終った。

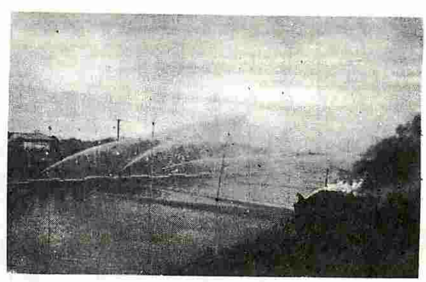
仮装おどり

婦人会綱引き

二日目も天候に恵まれ室内種目は囲碁、将棋、マージャン俳句等と、前日に引続き、生花、手芸、写真、作品の展示会があり野外においては、村内チームによる野球の決勝が行われ、会江津レパートチームと長竿チームの熱戦の結果村長旗の栄かんは、金江津チームに上った。二日間に亘る河内村文化祭も文字通の快晴に恵まれ無事終了する事が出来たのは何より喜ばしい。

駅伝

備へあれば憂なし
＝秋期消防点検行わる＝



模擬火災消火訓練

去る十一月二十六日快晴の天候に恵まれ旧生板中学校庭において来賓（消防協会稲敷支部、土浦支所、江戸崎支所、竜ケ崎警察署、地元より村議駐在巡査）等多数の出席と本村消防長以下千余名並に消防ポンプ十七台の出動の下に盛大に行われた。当日は開式の辞に初まり功労者表彰（別記）消防長による服装点検、分列行進と消防長の挨拶、来賓各位の祝辞、表彰者代表謝辞、団長答辞等が最後に閉式となった。

其の後新利根川万歳橋附近の堤に備へられた消防器具の点検があり直ちに最後をかざる消火訓練が花火を合図に一済にくりひろげられた。先づ川に立てられた提灯落しから対岸に用意された藁小屋の模ぎ火災消火を最後に近代消防ポンプの威力を遺憾なく発揮せられて幕となった。

消防団長　小倉堅爾
″副団長　岡野斉芳
″　野沢　彰
″　山口幸男
第一支団長　福智　栄
才二″　鈴木清次
才三″　小更三五郎
才四″　久松栄児

支団	分団	消火器具名	所在地	分団長名
才一	才一	四輪車　手引ガソリン	掘割	荒井　広
	才二	三輪車	関場	小山　金吾
	才三	手引ガソリン	砂場	栗山彦太郎
	才四	″	藤蔵	花沢　延
	才五	″	生鍋	小島　宗作
才二	才六	三輪車	新橋	篠崎　七郎
	才七	四輪車	羽子騎	田口　金男
	才八	三輪車	平三郎	糸川　吉郎
才三	才九	四輪車及び腕用	中上	大古　弘
	才十	架搬式ガソリン	愛宕町	小更　敏夫
	才十一	″	荒地	大野　四郎
	才十二	手引ガソリン	庄布川	近藤日出男
才四	才十三	NM式小型ガソリン	上田川	飯島　雅佳
	才十四	″	片巻	篠田　茂
	才十五	架搬式ガソリン	下加納	長谷川豊作
	才十六	″	上金江津	飯田　幹雄
	才十七	三輪車及び架搬式ガソリン	中金江津	渡辺　篤吉
	才十八	架搬式ガソリン	下金江津	鈴木　敏雄
	才十九	″	平川	小林　雄市
	才二十	″	十三間戸	高仲　幹

永年勤続消防団員名

一、知事表彰（感謝状及びメタル）　十六名

福智　栄、渡辺　篤吉、石山　勝、茨城市良兵衛
斉藤　恒三、田口　幸夫、中沢　政雄、糸川　吉郎
石川　守、平川　勇、吉田　仁、石田　朝義
青野　三郎、興津　芳雄、桜井　武夫、海保　匡喜

優良消防団員　消防協会稲敷支部長　表彰者

福智　栄

優良消防団員　団長表彰者

大野　荘、笠原延治、川瀬文雄、大野利夫、長島正男
篠原　勇、関口利夫、杉山三郎、亀田嘉道、栗山　健
鴻野　清、石山　実、小倉　武、宮本顕、田々辺久麿
宮本鴻一、広瀬定雄、飯島雅佳、伊藤隆司
杉川進一、高橋　昇、久松　明、桜井武夫
藤ケ崎芳男、小林雄市、高仲幹　二十六名

英霊二柱無言の凱旋

本村出身左記勇士は終戦後ソ連地区に抑留され消息不明の処今般死亡が確認され十一月二十六日午後一時三十三分佐貫駅着直ちに遺族に抱かれ懐かしの我が家へ無言の凱旋をされた夫々自宅葬を営なまれ村長の弔詞各種団体の焼香があり厳粛に行なはれた。

左記

故陸軍軍曹小更丁君　長竿
故陸軍技術兵長森田茂君　生板

農産物品評会の審査から

河内地区農業改良普及所長　関口好造

十四、十五日の両日に亘って行はれました河内村文化祭の行事として農産物品評会が行はれたので、その審査を通して感じたことについて二、三述べたいと思います。農産物品評会の目的とするところは農産物の改良増産の普及展示の効果を狙う（動向）にあることで、①優良品種の普及、②品質の改良、③調製、包装荷造り、市場性向上、④地域性―特産の研究、⑤栽培技術の改良　これによって生産される優良品の共販態勢の確立にいたらしむることであらう本年の総点数は一五〇余点が出品され、然かも出品された米穀雑穀類にあっては相当の優秀品もあり、特に米穀類に於ては相当念入の調整のあまり、一般出廻り品との差異が極端に見られ工芸品的のものもあった等の評を得たのでありますが、米穀類の最も生命とする乾燥と調整。一般生産物については、包装に尚一段の努力が必要であらう、特に市場性に富む品種の選定について今後充分留意しなければならない。尚園芸部品にあっては、出品総量は少ないがこれも優秀品の出品があった本村の地域性から見た場合、特に耕作（栽培）の多い蓮根（五〇ヘクタール余に及ぶ）の出品が少く又葱等の土地に適した作物の出品が少なかったことは遺憾とするところである。当地域に於ける園芸品の姿から観た時に市場的に価値のあるものは蓮根であり、次に葱を除いて外には数少いのであります。

に鑑みて才一にこれら市場性のあるものを主体としたもの才二に地域性に適した作物、適品種の選出に努力された出品が会場を埋めてほしいと願うのであります。そしてこれらの出品が、品種、土壌、管理、病害防除等の耕種についての充分意見の交換会(反省会)をなされることによって、地域特産の発見と、これらが陸田裏作、水田裏作、田畑輪換、宅地利用に導入される研究への芽ばえとなることが品評会のねらいでもあらう。

今後の運営に当っては、事前に於ける一般農家への啓蒙と理解協力によって一層有意義ならしめたい。

学校橋の改修について

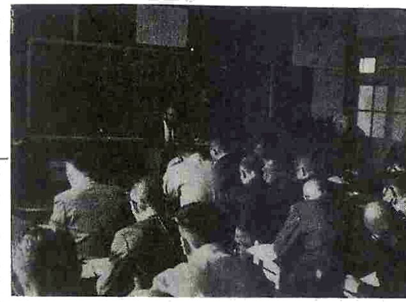
学校橋については昨年より非常に危険な状態にあり、現在荷重制限一屯を標示して皆様に多大の御迷惑をおかけ致しておりますが、本年度改修を実施する予定で当初全部コンクリートによる永久橋にする構想で種々検討を致して参りましたが、去る九月ボーリングを三ケ処実施した結果地盤が非常に軟弱のため多額の工費を要し約千五百万円位の見込で財政的にも困難で止むを得ず木造で改修する事になり木造の場合でも約二百万円前後の工費になります。只今県と最後の打合せを致しておりますので、決定次才直ちに事業を開始する予定でありますから右事情御了承の上御協力をお願い致します。（土木係）

ちょっと一言

これからは忘年会、新年会とお酒を飲む機会が非常に多くなります。余り飲み過ぎて体をこわさないようお互に気をつけましょう

火のもとに注意しましょう

社会福祉協議会とは


社協会議の模様

【一】

私共の毎日生活している村を静かにながめて見るとき貧困でその日の生活に困っている人、病気や身体の障害のため仕事が出来ず加うるに充分治療することも出来ない人、多くの子供を抱えて、夫に先立れてその日の生活に心も身体もつかれ果てている、いわゆる母子世帯の人々や年老いて身寄のない老人、又は罪を犯したりヒロポン患者などになっている問題等青少年などをはじめその他数多くの社会を暗くしている事実が発見されることである。

【二】

こうした不幸な人々に対して国が福祉関係機関を通していわゆる福祉三法「生活保護法児童福祉法、身体障害者福祉法」の実施により援護してはいるが、これによる人ははんの一部分で前述の困っている人の大部分は矢張り不幸な儘に放任されて生活苦にあえいでいるのである。今日こうした人々に対して速かに温かい手をさしのべて援護しなければ犯罪は日に日に増加し社会はますます暗くなるばかりである。ここに私共は法律の援護では不充分な点をお互の扶助において補い不幸な人々を援護し（法外援護）少しでも地域社会を明るく住みよい村に造りあげなければならないのである。その仕事をするのが即ち「村の社会福祉協議会である」。

【三】

地域社会において困っている人々、社会の病悪について村長、民生委員、保護司、PTA、青年会、婦人会、末亡人会、医師等その他社会福祉の増進に関心をもっている人々が互に心を合せ手をとり合って相談し比較的経費のかからなくて手取り早く解決し得られる問題から一つ一つ片付けていくのが社会福祉協議会の仕事である。

【四】

無論前項に述べた人々や機関、団体は各々その立場に於て使命とする。目標に向って活動はしているが多くの場合その各々の仕事が、ばらばらになっていて全体の連絡協調が充分出来ていないのが遺憾ながら現在の状況である。これらの人々や機関団体が互いに連絡協調して各々がその使命とする仕事が容易に能率的に出来るように調整を図るのも社会福祉協議会の大きな仕事である。社会福祉協議会が出来ると他の機関や団体は存在の理由が無くなるように思っている人もあるようであるが、これは誤解である。社会福祉協議会を作ることによって却って各種機関や団体の仕事が活発に行はれるのであることを改めて考えて見ることにしたい。

【五】

村には公民館があるから社会福祉協議会はいらないと言う人があったとしたら、その人はむしろ公民館とはどんなものかと云うことが分らないからではなかろうか、そもそも公民館活動は社会教育法によって村が主体となって造り公民館運営審議会の委員によって運営されるので公民館と云う建物を利用して主として定期講座の開設、青年学級の開設、討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等の開設、体育リクリエーション等に関する集会の開催各種団体の連絡等によって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化、生活文化の振興等によって社会福祉の増進に間接的に寄与することを恥能とするものであるが、「社会福祉協議会」は社会福祉法に基き村当局をも含めた、全地域の会員組織による民間団体で直接に社会福祉の増進を図ることが全部の目的である。

【六】

つまり公民館活動は文化面の向上についての仂らきに対して社会福祉協議会は地域全体の暗い面、病悪を取除く役目を果すのであるから両者は緊密な連絡をとることが大切である。公民館活動だけでは決して社会福祉協議会の使命とする仕事を果すことは出来ない従って「屋上屋」を架することにはならないことを強く訴いる。（厚生課）

終りに河内村社会福祉協議会の役員は次のとおりであります。役員の任期は各種団体長及び役職在職中で退職後は次の者と自動的に交代する。

社協役名	役職名	氏名
会長	村長	青野隆一郎
副会長	議会議長	古手泰寿
〃	民協会長	坂本孝恕
常任理事	区長	大塚松次郎
〃	〃	鈴木昇
〃	〃	大塚好
〃	〃	宮本昇三郎
〃	〃	小更六三郎
〃	〃	松田重雄
〃	〃	鈴木武司
〃	〃	高松四郎
〃	〃	小林若次郎
〃	〃	真仲弘
〃	〃	片岡芳郎
〃	〃	厚田友太郎
〃	〃	岡野甲子彦
〃	〃	広沢憲
〃	〃	沼崎香
〃	〃	山口茂
〃	〃	根本孝一
〃	〃	沢田操
〃	〃	青野二郎
〃	〃	小倉喜一郎
常務理事	役場書記	内藤豊
監事	〃	佐藤政夫
〃	〃	岡野省衛
理事	区長	池田栄
〃	〃	吉原武
〃	〃	秋本国松
〃	〃	荒井利穂
〃	〃	飯島敏
〃	〃	石橋朝之助
〃	〃	後藤銀次郎
〃	〃	石川誠
〃	〃	上山好郎
〃	〃	田沼恒吉
〃	〃	細片栄
〃	〃	佐藤宙司
〃	〃	杉山茂
〃	〃	松本高雄
〃	〃	田中庄司
〃	〃	大塚千之
〃	〃	石山実
〃	〃	宮本庸太郎
〃	〃	鴻巣雄一郎
〃	〃	長竿竹子
〃	〃	本田隆光
〃	〃	宮本鴻一
〃	〃	垣沼清
〃	〃	島崎勝治
〃	〃	木内三喜男
〃	〃	町田博
〃	〃	田中孝穂
〃	〃	尾高寛一
〃	〃	秋山正
〃	〃	秋山通雄
〃	〃	林昭吉
〃	〃	高山栄一郎
〃	〃	海老原定吉
〃	〃	石橋伝
〃	〃	大野三代志
〃	〃	坂巻二郎
〃	〃	高山義雄
〃	〃	石井解次郎
〃	〃	山田高
〃	〃	川村清
〃	〃	福智実
〃	〃	長島喜一郎
〃	〃	長島喬治
〃	〃	大竹四郎
〃	〃	重田一男
〃	〃	野口沢治郎
〃	〃	佐々木近之介
〃	〃	石橋四郎
〃	農委会長	石山源馬
〃	選管委員長	上武金男
〃	教委員長	浅野秀雄
〃	民生委員	若栗ティ
〃	〃	佐川角栄
〃	〃	田口信堅
〃	〃	秋山薫
〃	〃	長竿竹子
〃	〃	小更芳郎
〃	〃	大野修
〃	〃	仲久木長四郎
〃	〃	秋山一
〃	〃	平沢秀
〃	〃	野沢和太郎
〃	〃	中山ちか
〃	〃	榊原重朗
〃	〃	桜井昇
〃	〃	小川悦道
〃	〃	青野衛
〃	〃	興津政芳
〃	〃	大原貞雄
〃	〃	広沢伊平
〃	消防団長	小倉堅尉
〃	公民館長	篠田彦次
〃	公民館分館長	北口高
〃	〃	沼崎正
〃	〃	田中喜太郎
〃	〃	大古省三
〃	〃	秋山要
〃	〃	宮崎俊夫
〃	〃	高仲大次郎
〃	青年会長	田仲重雄
〃	婦人会長	山本とよ
〃	PTA連合会長	山口率男
〃	末亡人会長	塚本志な
〃	司法保護司	田仲孝穂
〃	〃	上武金男
〃	〃	野沢和太郎
〃	〃	小更百次郎
〃	〃	桜井昇
〃	〃	小川悦道
〃	教育長	鶴間良平

起工式行わる
東部地区水道

かねてより期待されて居った東部（金江津地区）水道の水源地が決定され去る十一月十七日現地（金江津内沼）において来賓、関係者多数出席の下に挙行された。

此の程さく井された深井戸は口経十二インチビニール管を二百十尺迄下げられたもので其処から溢れ出るせい水は水量水質の点から補ってもいい給水量一万二千石余を満たすに充分なものである。

まさに簡易水道日本一と言われるものであり加入者皆さんの台所に給水されるのも時間の問題となったのである。

老人の福祉のために

河内村民生委員長　坂本孝恕

お年寄りのなかには「老人」という言葉が大へん嫌いな方がある。人間は誰れでも、若くありたいという願望をもつ限り老いていくということは嫌なことに違いない。しかし人間は誰でも死なない限り老人になるのであるから、そう嫌ったものでもあるまい。太陽の美しさは何も朝日ときまったことでもあるまい。夕陽の美しさはむしろ朝日以上である。

老境に入った人生こそ最も円熟した美しさをどのように発揮するかということである。これを老人の立場から見れば自分の生活態度を美しくすることであり、若い者の側からいえば老人がはんとうに美しくあることの出来るような環境を配慮することである。老人福祉ということの中心点は実にここにあると思うのである。

老人が自らを美しくするということは、時代の推移ということを十分認識して、新しい社会に適応していけるように努めることである。何でもかんでも自分の人生経験を尺度にして、それに合わないものは、すべて間違いであるとする頑固さや、自分の主張を無理にも押し通そうとするような態度は、いわゆる「いやがられる」老人であって、このような老人は美しい老人とはいい難いのである。そこで老人が時代に適応していくためには、社会とか文化とかいうことを理解することに心がけなければならないのである。

そしてその老境の生活を楽しみながら、一方に新しい時代を認識するための社会的な機関が必要であるが、これが「老人クラブ」なのである。老人クラブを如何にしてつくるかということについては、ここに述べる余裕をもたないのであるが、老人クラブこそ老境の人生を豊かにしてくれる重要な機関である。

若い側が老人のために配慮すべきことは何かといえば、まず才一に完全な社会保障制度を確立するということであろう。老令年金によって老後の生活が保障され、健康の保持や、医療ということが、皆保険制度の実施によって、可能となるような体制がつくられなければならないのである。

特定の子供[illegible]親に対して孝行出来な[illegible]においては、若い国民層の共同の努力で、全体のお年寄りに孝行出来る実際の仕組が早急に作られなければならないのである。次に若い側は「老人の実態」というものを承知してかかることである。老人といえば、何といっても肉体的に精神的にも次才に衰えをみせることになるのであるから、欲求不満はとりわけ多い「老人とはこうしたものだ、人間は誰でも老[illegible]るのだ」ということを理解[illegible]あげるならば、老との対立が如何に無意味なものであるかということを認識することとなり、一般的に老人の感情をやわらげる精神的な安定のために心配することになるであろう。老境の生活が経済的にも精神的にも豊かであり、そして美しいものであるためには、このような相互の配慮が必要である。

★移動図書館巡回日★

十二月十六日

金江津駐車場	一、二〇～二、一〇
源清田〃	二、四〇～三、三〇
生板〃	四、〇〇～四、五〇

新村建設計画
学校道路について

学校道路改良事業については生板早井部落地先より源清田高部落地先までの三・六三七米を一号線（生板地内）二・二一四米二号線（源清田地内）一・四二三米の二線に分け通称小巻堤を巾員三・六米の道路を作り交通量の少い安全な道路により統合した。河内中学校に行ける通学道路並に産業道路を作る目的で本年度測量設計を致しまして国庫助補を申請して、すでに補助も決定致しましたので、直ちに事業を開始する予定であります。つきましてはすぐに工事に着手できる様に堤防上の耕作の取止め、無住工作物の除却等を実施される様特にお願い申上げます。次に皆様の一番御心配になる実施計画は現在堤防上に耕作又は住家及びその他の建造物等により非常にせまく三・六米の巾員を取るのに困難な状態でありましたが、測量に当って人家は成可くさけて反対側に実施路線をもってまいりましたが、両側に建造物のある場合止むを得ず御迷惑をおかけする処が一、二ヶ処できましたが幸い当事者の方に御立会願い御了解を得ましたので御了承願います。尚過去に於いては現在の堤防により水害をまぬがれたのに今回の計画は堤防全般に亘り二尺も低く削り万一水害の場合は大被害を受けるのではないかとの御懸念がありましょうが、一号線に於ては切土の最高が三〇糎の箇処が約四〇米位で盛土は最高五四糎で合計の切土量が七四九粒（約一二五坪）で盛土量は一五一五・七粒（約二五三坪）です。二号線では切土の最高が五七糎で約二〇米位です盛土は最高一米二六糎で合計切土量八二五・一粒（約一三八坪）で盛土量は一・八五三粒（約三〇九坪）でありますから現在畑等に切くずしてある処は盛土を致し法（ノリ）をつけますから御懸念の様な事はなくかえって堤防の補強になると信じるものであります。それから巾員三・六米の道路ができたらそれに対し一・三〇九粒（二一八坪）トラックで約二九〇台の砂利を敷きます以上が学校道路の実施計画の概要ですが宜しく御協力を御願い致します。

（土木係）

河内俳信

三句提出のこと

昭和三十四年度文化祭典を期して河内村内俳人が大同団結して、村当局後援のもとに俳句大会を開催して、河内文化祭の一翼を担うことの出来た事は誠に喜ばしきかぎりであります。紙面の都合上、当日出句の掲載は割愛致しますが、今後は毎月開催致しますから、同好の士は是非御参会下さる様願います取りあえず十二月句会は二十日午後一時より金江津大洞院に於て開催致します

題　師走　障子　雁鳴き
雑共五句吟当日持参のこと

◇後記◇

今月は非常に種々行事の多い月であった。各行事毎にもっと詳細に記して見たかったが紙面の関係上思うようにならなかった事を御了承願います就いては今月も皆さんから多数の御寄稿御礼申上げます尚先月号は誤字の多かった事を御詫び申上げます。

◎正月は新暦で致しましょう